

国道11号 伏石地区電線共同溝
P F I 事業

見積参考資料

令和7年10月

国土交通省 四国地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法等を十分考慮して、設計、工事、維持管理等、事業目的を完成・維持するための一切の手段において事業者の責任において定めるものとする。

資料一覧

1. 見積参考資料（調査・設計業務）
2. 歩掛参考資料（調査・設計業務）
3. 見積参考資料（調査・設計業務（試掘調査））
4. 歩掛参考資料（調査・設計業務（試掘調査））
5. 歩掛参考資料（調整マネジメント業務（設計段階））
6. 見積参考資料（工事業務）
7. 見積参考資料（工事業務（多目的照明柱設置））
8. 歩掛参考資料（工事業務）
9. 見積参考資料（特別調査（臨時調査））
10. 歩掛参考資料（調整マネジメント業務（工事段階））
11. 歩掛参考資料（工事監理業務）
12. 歩掛参考資料（維持管理業務）
13. 歩掛参考資料（調整マネジメント業務（維持管理段階））
14. 見積参考資料（その他施設費（割賦手数料））

見 積 参 考 資 料

業務名：国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（調査・設計業務）

この「見積参考資料」は入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、調査の目的や条件を充分考慮して、調査方法、安全対策等、業務成果物を完了するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この事業の入札日までとする。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

1. 電線共同溝詳細設計

項 目	積算条件
作業区分	設計計画、現地踏査、設計条件の整理・検討、平面・縦断線形設計、数量計算、管路部設計、特殊部設計、地上機器設計、施工計画、関係機関との協議用資料作成、照査、報告書作成
設計延長	1,850m
市街地以外等の延長	1,239.9m
予備設計成果	ある
各部設計	行わない
箇所数	1箇所

2. 道路照明施設詳細設計

項 目	積算条件
作業区分	現地踏査、設計計画、設計条件の確認/道路照明施設設計、設計図、数量計算、照査
連続照明亘長	1.85 k m
照明柱の条件	個別製作柱

3. 交差点照明施設詳細設計

項 目	積算条件
作業区分	現地踏査、設計計画、設計条件の確認/交差点照明施設設計、設計図、数量計算、照査
箇所数	3箇所
照明柱の条件	個別製作柱

4. 打合せ

業務着手時	1回（対面）
中間打合せ	5回（対面）
成果品納入時	1回（対面）

5. 関係機関打合せ協議

7機関・回（対面）

6. 旅費交通費

項目	業種
業種	土木設計業務
旅費交通費（区分）	率による計上（区分：土木設計業務）
宿泊費・宿泊手当	無
往復旅行時間にかかる 直接人件費	無

7. 電子成果作成費

本業務で見込んでいる電子成果品作成費として内訳項目は下記のとおりである。

- ・概略設計，予備設計または詳細設計

8. 試掘調査

試掘調査にかかる費用は、土木工事標準積算基準により算出し、算出された工事価格を諸経費非対象として業務価格の一部として計上している。積算条件等は、見積参考資料のほか、以下に示す。

施工地区 中讃 1

電力の供給 必要な電力は、発動発電機による供給を考慮している

アスファルト混合物の夜間割増について

夜間作業時に使用する、アスファルト混合物の材料単価には、夜間割増単価を含むものとする。

施工歩掛

標準歩掛のない歩掛については、歩掛見積参考資料に示すものとする。

試掘調査箇所数は以下を想定している。

歩道部70箇所

車道部20箇所

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（調査・設計業務）

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

電気施設設計

電気施設設計

道路照明施設設計

照明基礎詳細設計

【後日提示】

1ケースあたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							設計計算, 設計図, 数量計算, 照査, 報告書作成

道路設計

道路付属物設計

信号・標識共架設計

信号・標識共架設計

【後日提示】

1kmあたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							設計計画, 協議資料作成, 共架図面作成, 照査, 報告書作成

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（調査・設計業務（試掘調査費））

「見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。工事の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘（当初）調査費））		主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DID補正）（1）－1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DID補正）（1）－1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 週休2日（閉所）完全週休2日（土日）		

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（調査・設計業務（試掘調査費））					工種区分		C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称		単位	数量	
電線共同溝			式		1						
仮設工			式		1						
交通管理工			式		1						
交通誘導警備員 （夜間）			人日		20		< 1 人日当り> 交通誘導警備員A		人日	1	
交通誘導警備員 （夜間）			人日		30		< 1 人日当り> 交通誘導警備員B		人日	1	
直接工事費			式		1						
共通仮設費			式		1						
共通仮設費			式		1						
準備費			式		1						

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（調査・設計業務（試掘調査費））				（ 当 初 ）		工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
試掘調査費 (夜間)							舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	350		
							舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	100		
							舗装版破碎積込（電線共同溝）	m 2	105		
							舗装版破碎積込（電線共同溝） アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m 2	30		
							運搬（電線共同溝）	m 3	13		
							積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下；				
							処分費（m 3）	m 3	13		
							床掘り（電線共同溝）	m 3	192		
							埋戻し・締固め（電線共同溝）	m 3	194		
							土質=土砂；				
							下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クワッチャン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	105		
							下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=150 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クワッチャン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	30		
							上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=150 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生粒度調整砕石 RM-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	30		
							上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=80 mm；瀝青材料種類	m 2	30		

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（調査・設計業務（試掘調査費））				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
							名称	単位	数量	
			式		1		=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用； 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	30	
							中間層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	30	
							表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	105	
							表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下） ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=ﾀｯｸｺｰﾄ PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	30	
現場環境改善費（率計上）			式		1					
共通仮設費（率計上）			式		1		施工地域補正=市街地（DIDD補正）（1）－1； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2 日の補正=週休2日（閉所）完全週休2日（土日）			
純工事費			式		1					

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（調査・設計業務（試掘調査費））					（ 当 初 ）	工種区分	C ・ C ・ B O X 工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D補正）（1）－1； 緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2日（閉所）完全週休2日（土日）				
工事原価		式		1						
一般管理費等		式		1						
工事価格		式		1						
消費税相当額		式		1						
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

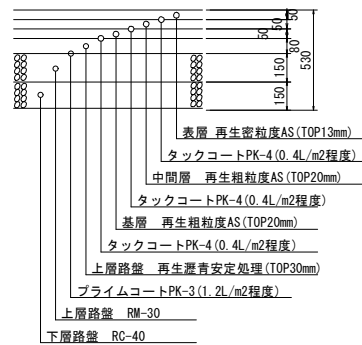
見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする						
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（調査・設計業務（試掘調査費））				事業区分	共通仮設費		
						工事区分	共通仮設費		
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
試掘調査費 (夜間)			式	1	○				

舗装・復旧構造図

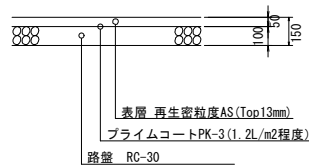
車道舗装

S=1 : 20



步道舗装

S=1 : 20



工 事 名	国道11号 伏土地区電線共同溝 P F I 事業 (調査・設計業務)		
図 面 名	舗 装・復 旧 構 造 図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 1
会 社 名			
事務所名	四国地方整備局 香川河川国道事務所		

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（調査・設計業務（試掘調査費））

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

試掘調査費

共通仮設費

共通仮設費

準備工

試掘調査費（夜間）

舗装版破碎積込（電線共同溝）（アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下）10m2当たり

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	0.4	
普通作業員		人	1.2	
運転手（特殊）		人	0.4	
バックホウ（クロー）〔超小旋回型〕	山積0.28m3	日	0.4	賃料
諸雑費（率+まるめ）	労務費の合計金額×10%	式	1	

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（調整マネジメント業務（設計段階））

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

調整マネジメント業務
調整マネジメント業務
調整マネジメント業務
実施計画等作成

【後日提示】

1式あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							実施計画等作成

調整マネジメント

【後日提示】

1月あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							調整・協議等

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）

「見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。工事の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）		主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DID補正）（1）－1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DID補正）（1）－1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正	補正しない 週休2日（閉所）完全週休2日（土日）		

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
電線共同溝		式		1				
仮設工		式		1				
土留・仮締切工 （夜間）		式		1				
軽量鋼矢板(電線共同溝)		式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板(賃料) 1型 整備費含む 21日 軽量鋼矢板(賃料) 1型 整備費含む 39日 角型鋼管損料 125×125×3.2 3ヶ月未満 切梁ボルト(賃料) W1200～1800 基本料含む 33日 水圧ボルト(賃料) W2100～2600 基本料含む 15日 水圧手動ポンプ(賃料) タンク水量15～19L 基本料含む 15日	m t t t 本 本 台	41 0.3 0.8 0.4 4 4 1
仮舗装工 （夜間）		式		1				
車道舗装		m2		890		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生グラッサラン RC-30；費用の内訳=全ての費用； 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 2 m 2	1 1

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
交通管理工		式		1				
交通誘導警備員 (A)	夜間	人日		630		< 1 人日当り > 交通誘導警備員 A	人日	1
交通誘導警備員 (B)	夜間	人日		1,890		< 1 人日当り > 交通誘導警備員 B	人日	1
舗装版撤去工		式		1				
舗装版破砕工 (夜間)		式		1				
殻運搬	アスファルト殻 片道運 搬距離L=10.5km以 下	m3		297		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝工） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距 離(km) (DID区間有)=10.5km以下；	m 3	1
殻処分	アスファルト殻	m3		297		< 1 m3当り > 処分費（m 3）	m 3	1
舗装版切断	アスファルト舗装版 15c m以下	m		5,040		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以 下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版切断	アスファルト舗装版 15c mを超え30cm以下	m		2,320		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを 超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単位	数量
舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cm以下	m2		1,820		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込（電線共同溝工）	m 2	1
舗装版破碎	アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m2		890		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込（電線共同溝） アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m 2	1
開削土工		式		1				
掘削工 （夜間）		式		1				
開削掘削	土砂	m3		2,800		< 1 m3当り > 床掘り（電線共同溝工）	m 3	1
土砂等運搬	土砂 片道運搬距離L=6.0km以下	m3		2,200		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝工） 積載区分=土砂； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km) (DID区間有)=6.0km以下；	m 3	1
整地	残土受入れ地での処理	m3		2,200		< 1 m3当り > 整地 作業区分=残土受入れ地での処理；	m 3	1
埋戻し工 （夜間）		式		1				
埋戻し・締固め	中埋砂	m3		1,000		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=中埋砂；	m 3	1
埋戻し・締固め	土砂	m3		540		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め（電線共同溝工） 土質=土砂；	m 3	1

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
残土処理工		式		1				
積込(ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m3		2,200		< 1 m3当り > 積込 (ルーズ) 土質=土砂；作業内容=土量50,000m3未満；	m 3	1
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む) 片道運搬距離L=19.5km以下	m3		2,200		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準；積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)；土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む)；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=19.5km以下；	m 3	1
残土等処分		m3		730		< 1 m3当り > 残土等処分	m 3	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部) (夜間)		式		1				
埋設管路	角型FEP130 難燃性	m		4,223		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1
埋設管路	角型FEP100 難燃性	m		1,781		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1
埋設管路	角型FEP75 難燃性	m		3,558		< 1 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
埋設管路		角型FEP50 難燃性	m		1,779		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	1
埋設管路		ホ`デ`イ管 φ150 直管 さや管含む 5条(2条(φ50)+3条(φ30))	m		1,437		< 1 m当り> 管路材設置 埋設部 ホ`デ`イ管 φ150 さや管設置含む ホ`デ`イ管 VP φ150 直管 SU管 φ50 SU管 φ30	m m m m	1 1.05 2.1 3.15
埋設管路		FA管 φ150 直管	m		1,644		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	1
埋設管路		PV φ50 直管	m		1,130		< 1 m当り> 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置；	m	1
管枕 (材料費)		VP φ150用	個		1,830		< 1 個当り> 管枕 VP φ150用	個	1
管枕 (材料費)		PV φ50用	個		1,643		< 1 個当り> 管枕 PV φ50用	個	1
埋設表示シート (材料費)		W300 タ`プル 穴無	m		5,232		< 1 m当り> 埋設表示シート（材料費）	m	1
プレキャストボックス工(特殊部) (夜間)			式		1				

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス	I型トラフ 1200×1450×3000 付属品・鉄蓋含む	個		6		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； I型トラフ 1200×1450×3000 付属品・鉄蓋含む 基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	個	4
							組	3
							個 m 2	1 6.2
プレキャストボックス	I型トラフ+地上機器（標準用）1200×1450×3000 付属品・鉄蓋含む	個		2		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； I型トラフ+地上機器（標準用）1200×1450×3000 付属品・鉄蓋含む 基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	個	5
							個	1
							組 個 m 2	4 1 7.3

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単 位	数 量
プレキャストボックス	I型トラフ 3連結 1200×1450×4500 付属品・鉄蓋含む	個		4		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	5
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下；	組	5
						I型トラフ 3連結 1200×1450×4500 付属品・鉄蓋含む 基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシャラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；	個 m ²	1 8.8

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス	A-3マンホール 丸首タイプ 。 車道用 2000×1900×4300 付属品・鉄蓋含む					< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	3
						蓋設置 蓋1組当り質量=800kgを超え2000kg以下； A-3マンホール 標準丸首タイプ D=0.5m(車道用)2000×1900×4300 付属	組	1
						基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	個	1
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パックホウ(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用；	m 2	8.6
						鉄筋工〔市場単価〕 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	m 3	2.6
		個		7		鉄筋工〔市場単価〕 鉄筋材料規格・径=SD345 D16～25；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	t	0.129
							t	0.169

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単 位	数 量
プレキャストボックス	A-5マンホール 丸首タイプ 車道用 1500×1900×4000 付属品・鉄蓋含む	個		7		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	2
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準以外；ラフレックレン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	1
						蓋設置 蓋1組当り質量=800kgを超え2000kg以下； A-5マンホール 標準丸首タイプ D=0.5m（車道用）1500×1900×4000 付	組	1
						基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	個	1
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッド法(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用；	m 2	6
						鉄筋工〔市場単価〕 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	m 3	1.8
							t	0.175

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単 位	数 量
プレキャストボックス	A-5マンホール 丸首タイプ 。 歩道用 1500×1900×4000 付属品・鉄蓋含む	個		4		< 1 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレインクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレインクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無； 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下； A-5マンホール 標準丸首タイプ D=0.3m(歩道用)1500×1900×4000 付属 基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用； コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッド法(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用； 鉄筋工〔市場単価〕 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	個	2
							個	1
							組	1
							個	1
							m 2	6
							m 3	1.8
							t	0.175

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単位	数量
プレキャストボックス	A-7マンホール 丸首タイプ 車道用 1200×1800×3000 付属品・鉄蓋含む					プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	2
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；	個	1
						蓋設置 蓋1組当り質量=800kgを超え2000kg以下；	組	1
						A-7マンホール 標準丸首タイプ D=0.5m（車道用）1200×1800×3000 付	個	1
						基礎砕石 砕石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；砕石の種類=再生クラッシャー 40～0；費用の内訳=全ての費用；	m 2	3.6
						コンクリート 構造物種別=無筋・鉄筋構造物；打設工法=パッド法(クレーン機能付)打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1.1
						鉄筋工〔市場単価〕 鉄筋材料規格・径=SD345 D13；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=補正無(一般構造物)；	t	0.111
						鉄筋工〔市場単価〕 鉄筋材料規格・径=SD345 D16～25；規格・仕様区分=一般構造物；施工規模=10t未満；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業補正=有；トンネル内作業の補正=無；法面作業の補正=無；太径鉄筋補正=補正無(鉄筋割合10%未満含む)；構造物種別による補正=	t	0.005

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）									
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
							名称	単位	数量		
			個		1		補正無(一般構造物)；				
プレキャストボックス	通信接続桝 500×1050×2000 付属品・鉄蓋含む					< 1 個当り> プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；			個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；			個	2	
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下；			組	1	
						通信接続桝 500×1050×2000 付属品・鉄蓋含む			個	1	
						基礎碎石 碎石の厚さ=12.5cmを超え17.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；			m 2	2.4	
プレキャストボックス	低圧分岐桝 500×500×1000 鉄蓋含む				3	< 1 個当り> プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレレンクレーン賃料補正係数=標準以外；ラフレレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=1.23 無；			個	1	
						蓋設置 蓋1組当り質量=200kg以下；			組	1	
						低圧分岐桝 500×500×1000 鉄蓋含む			個	1	
						基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用；			m 2	1	
コンクリート夜間割増し			個		75		< 1 回当り> 生コンクリート夜間割増し コンクリートプラント開設費			回	1
			回		10						

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
道路照明設備工		式		1				
道路照明設備工 （夜間）		式		1				
多目的照明柱設置・撤去		式		1		多目的照明柱設置・撤去 諸経費含む	式	1
照明基礎工 （夜間）		式		1				
コンクリート （基礎）	18N/mm2以上	m3		9		< 1 m3当り > コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=人力打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1
コンクリート （根巻）	18N/mm2以上	m3		7		< 1 m3当り > コンクリート 構造物種別=小型構造物；打設工法=人力打設；コンクリート規格=各種；養生工の種類=一般養生；現場内小運搬の有無=無し；費用の内訳=全ての費用；	m 3	1
型枠 （根巻）	一般型枠 小型	m2		40		< 1 m2当り > 型枠 型枠の種類=一般型枠；構造物の種類=小型構造物；	m 2	1
鋼製杭基礎 （1号）	直杭 H鋼200×300 OH	基		33		< 1 基当り > 抵抗板付鋼製杭基礎打込及び引抜（同日施工3回以上） 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎 ポールアンカー100型-V H150～400	回 t	1 0. 25

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
鋼製杭基礎 (2号)	直杭 H鋼350×500 OH	基		17		< 1 基当り> 抵抗板付鋼製杭基礎打込及び引抜(同日施工3回以上) 夜間作業の有無=有り；時間的制約の有無=無し； 抵抗板付鋼製杭基礎 ポールアンカー100型-V H150～400	回	1
						t	0.91	
コンクリート夜間割増し		回		4		< 1 回当り> 生コンクリート夜間割増し コンクリートプラント開設費	回	1
接地設置工 (夜間)		式		1				
接地抵抗	A種 IV5.5sq CD16	極		13		< 1 極当り> 接地設置 作業種別=A種接地；基礎床掘3m以内の施工による補正=補正あり； 接地極銅板 900×900×1.5 t 黄銅ロウ付 600Vビニル絶縁電線 IV 5.5mm2 合成樹脂製可とう電線管 CD16	極	1
						枚	1	
						m	1.5	
接地抵抗	D種 IV5.5sq CD16	極		37		< 1 極当り> 接地設置 作業種別=D種接地；基礎床掘3m以内の施工による補正=補正あり； 連結式接地棒 φ10×1500mm 接地棒用リード端子 E-B10 10φ用8×500 600Vビニル絶縁電線 IV 5.5mm2 合成樹脂製可とう電線管 CD16	極	1
						本	1	
						m	1.5	
舗装工		式		1				

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
アスファルト舗装工 (1号車道舗装)(夜間)		式		1				
下層路盤(車道・路肩部)	RC-40 t=150mm	m2		890		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=150 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1
上層路盤(車道・路肩部)	RM-30 t=150mm	m2		890		< 1 m2当り > 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=150 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生粒度調整砕石 RM-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材(30) t=80mm 1.4m未満	m2		890		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=路盤材(各種)；平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=80 mm；瀝青材料種類=ブライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) t=50mm 1.4m未満	m2		890		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1
中間層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) t=50mm 1.4m未満	m2		890		< 1 m2当り > 中間層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項		
						名称	単位	数量
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(13) t=50mm 1.4m未満	m2		890		< 1 m2当り > 表層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1
アスファルト舗装工 (1号歩道舗装)(夜間)		式		1				
下層路盤(歩道部)	RC-30 t=100mm	m2		1,820		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工；材料=再生クラッシュラン RC-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1
表層(歩道部)	再生密粒度アスコン(13) t=50mm 1.4m未満	m2		1,820		< 1 m2当り > 表層（歩道部） 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1
縁石工		式		1				
縁石工 (夜間)		式		1				
歩車道境界ブロック (1号縁石)	B種 再利用	m		118		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置；ブロック規格=B種(180/205×250×600)；基礎砕石規格=再生クラッシュラン RC-40；均し基礎コンクリート規格=無し；	m	1

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素		規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
							名称	単位	数量
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ (1号)		B種 再利用	m		547		< 1 m当り> 地先境界ブロック 作業区分=再利用設置；ﾌﾞﾛｯｸ規格=B種(150×120×600)；基礎砕石規格=再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40；均し基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ規格=無し；	m	1
区画線工			式		1				
区画線工 (夜間)			式		1				
溶融式区画線		溶融式手動 実線 15cm 厚1.5mm 排水性舗装無	m		1,200		< 1 m当り> 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=溶融式手動；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線 15cm；時間的制約の有無=無し；塗布厚=1.5mm；排水性舗装に施工する場合の補正=無し；未供用区間の場合の補正=無し；溶融式塗料規格=含有量15～18%；塗料区分=白；プライマー規格=アスファルト舗装；費用の内訳=全ての費用；	m	1
道路付属施設工			式		1				
道路付属物工 (夜間)			式		1				
視覚障害者誘導表示ｼｰﾄ		新設密粒舗装用	m		1,000		< 1 m当り> 視覚障害者誘導標示ｼｰﾄ(夜間) 新設密粒舗装用	m	1
道路植栽工			式		1				

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
道路植栽工 (夜間)		式		1				
移植	低木樹高60cm未満 中低木10本以上 低木樹高60cm未満 100本以上1000本 未満	本		500		< 1 本当たり > 移植工（掘取工） 施工内容=低木樹高60cm未満；施工規模=中木・低木1 0本以上；時間制約補正=無；夜間作業補正=有；施 工場所別補正=供用区間 標準(歩道及び交通島)；幹 巻き補正=無； 道路植栽（植樹） 施工内容=低木樹高60cm未満；施工規模=100本以上1 000本未満；時間制約補正=無；夜間作業補正=有； 施工場所別補正=供用区間 標準(歩道及び交通島)； 土壌改良材の有無=無；植樹割増しの有無=無；	本	1
							本	1
移植	中木樹高60cm以上 100cm未満 中低木 10本以上 中木樹 高60cm以上100cm 未満 50本以上	本		500		< 1 本当たり > 移植工（掘取工） 施工内容=中木樹高60cm以上100cm未満；施工規模= 中木・低木10本以上；時間制約補正=無；夜間作業補 正=有；施工場所別補正=供用区間 標準(歩道及び交 通島)；幹巻き補正=無； 道路植栽（植樹） 施工内容=中木樹高60cm以上100cm未満；施工規模=5 0本以上；時間制約補正=無；夜間作業補正=有；施 工場所別補正=供用区間 標準(歩道及び交通島)；土 壌改良材の有無=無；植樹割増しの有無=無；	本	1
							本	1
引込管等委託費		式		1				
引込管等委託費 (夜間)		式		1				

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単位	数量
引込管等委託費		式		1		引込管等委託費 諸経費含む	式	1
支障物移設工		式		1				
支障物移設工 (夜間)		式		1				
支障物移設費		式		1		支障物移設費 諸経費含む	式	1
構造物撤去工		式		1				
縁石撤去工 (夜間)		式		1				
歩車道境界ブロック撤去	再利用	m		118		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用；	m	1
地先境界ブロック撤去	再利用	m		547		< 1 m当り > 地先境界ブロック撤去 再利用区分=再利用；	m	1
道路植栽撤去工 (夜間)		式		1				
撤去	高木	本		100		< 1 本当り > 撤去 高木	本	1

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
準備費		式		1				

見積参考資料

工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）						
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
試掘調査費 (夜間)		式		1		舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	150
						舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	100
						舗装版破碎積込（電線共同溝工）	m 2	45
						舗装版破碎積込（電線共同溝）アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下	m 2	30
						運搬（電線共同溝工）	m 3	9
						積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下；		
						処分費（m 3）	m 3	9
						床掘り（電線共同溝工）	m 3	104
						埋戻し・締固め（電線共同溝工）	m 3	106
						土質=土砂；		
						下層路盤（歩道部）	m 2	30
						全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工；材料=再生クラッシャー RC-30；費用の内訳=全ての費用；		
						表層（歩道部）	m 2	45
						平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；		
						表層（車道・路肩部）	m 2	30
						平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)；1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=各種(2.20以上2.30t/m3未満)；瀝青材料種類=無し；費用の内訳=全ての費用；		

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（当初）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
事業損失防止施設費		式		1				
家屋調査費		式		1		家屋調査費（一式）	式	1
騒音調査費		式		1		建設作業騒音レベル測定 1発生源×10箇所	式	1
振動調査費		式		1		建設作業振動レベル測定 1測線×10箇所	式	1
技術管理費		式		1				
道路施設基本データ作成費用		式		1		道路施設基本データ作成費用	式	1
現場環境改善費（率計上）		式		1				
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（DID補正）（1）－1； 除雪工補正=補正無；ICT施工補正=しない；週休2 日の補正=週休2日（閉所）完全週休2日（土日）		
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（DID補正）（1）－1； 緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しな い；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2 日（閉所）完全週休2日（土日）		

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	○：該当する管理費区分が含まれている								
工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）				事業区分	共同溝・電線共同溝		
						工事区分	電線共同溝		
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
殻処分		アスファルト殻	m3	297	○				
残土等処分			m3	730	○				
多目的照明柱設置・撤去			式	1					○
引込管等委託費			式	1					○
支障物移設費			式	1					○
試掘調査費 (夜間)			式	1	○				
家屋調査費			式	1					○

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする						
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（工事業務）（ 当 初 ）				事業区分	共通仮設費		
						工事区分	共通仮設費		
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
騒音調査費			式	1					○
振動調査費			式	1					○

見積参考資料（別紙）

国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

「見積参考資料（別紙）」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積りに供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。

工事の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

1. 施工地区

本工事の施工地区は中讃1としている。

2. 電力の供給

本工事に必要な電力は、発動発電機による供給を考慮している。

3. 道路施設基本データ作成費

道路施設基本データ作成に要する費用は、下記としている。

・技術員 1.75人 / 1工事当たり（週休2日補正（労務費）の対象外）

4. 生コンクリート、アスファルト混合物の夜間割増について

本工事において夜間作業時に使用する、生コンクリート、アスファルト混合物の材料単価には、夜間割増単価を含むものとする。

5. 多目的照明柱設置・撤去

本工事における道路照明設備工（多目的照明柱設置・撤去）の積算条件については、別紙見積参考資料によるもののほか、以下のとおりとする。

(1) 輸送（電気）

多目的照明柱の運搬費として、以下のとおり計上している。

大阪府庁～香川河川国道事務所まで陸送+フェリー航送による運搬とし、以下の条件で費用を計上している。

運搬車両

トレーラ 1台

運搬経路

大阪府庁～神戸三宮フェリーターミナル 陸送 36.5km（有料道路使用）

神戸三宮フェリーターミナル～高松東港 フェリー航送※

高松東港～香川河川国道事務所 陸送 2.2km

※フェリー航送費用の料金区分は、全長16m以上17m未満、幅2.5m以下（燃料価格変動調整金を含む）としている。

6. 引込管等委託費

本工事における引込管等委託費については、工事数量総括表に示す下記対象工種の直接工事費の60%を共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の諸経費を含んだ費用として計上している。

区 分	工 種	対 象	対 象 外
電 線 共 同 溝			
	仮 設 工		×
	舗 装 版 撤 去 工		×
	開 削 土 工		×
	電 線 共 同 溝 工	○	
	道 路 照 明 設 備 工		×
	舗 装 工		×
	縁 石 工		×
	区 画 線 工		×
	道 路 付 属 施 設 工		×
	道 路 植 栽 工		×
	引 込 管 等 委 託 費		×
	支 障 物 移 設 工		×

7. 支障物移設費

本工事における支障物移設費については、工事数量総括表に示す下記対象工種の直接工事費の20%を
共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の諸経費を含んだ費用としてを計上している。

区 分	工 種	対 象	対 象 外
電 線 共 同 溝			
	仮 設 工		×
	舗 装 版 撤 去 工		×
	開 削 土 工		×
	電 線 共 同 溝 工	○	
	道 路 照 明 設 備 工		×
	舗 装 工		×
	縁 石 工		×
	区 画 線 工		×
	道 路 付 属 施 設 工		×
	道 路 植 栽 工		×
	引 込 管 等 委 託 費		×
	支 障 物 移 設 工		×

9. 事業損失防止施設費について

(1) 家屋調査費

公共事業に係る工事の施行に伴う建物等の損害等の調査に係る業務費積算基準に基づき、諸経費を含んだ費用
を算出し、算出された費用を共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の諸経費を含んだ費用として工事価格の一
部としている。

以下に積算条件等を示す。

1) 作業計画

作業計画書の策定 1業務

2) 現地踏査 1業務

3) 事前調査

外業（調査）、内業（図面等）を実施するものとし、以下の数量見込んでいる

区分	単位	規模	数量
木造建物 A	棟	70m2未満	3
木造建物 A	棟	70m2以上130m2未満	6
木造建物 A	棟	130m2以上200m2未満	1
木造建物 A	棟	200m2以上300m2未満	2
木造建物 A	棟	300m2以上450m2未満	1
木造建物 A	棟	450m2以上600m2未満	1
非木造建物イ	棟	200m2未満	3
非木造建物イ	棟	200m2以上400m2未満	5
非木造建物イ	棟	400m2以上600m2未満	4
非木造建物イ	棟	600m2以上1000m2未満	2
非木造建物イ	棟	1000m2以上1500m2未満	1
工作物	棟	100m2未満	1
工作物	棟	100m2以上300m2未満	1
工作物	棟	300m2以上630m2未満	3

4) 打合せ協議

業務着手時、中間打合せ、成果物納入時の各1回実施するものとする。

5) 直接経費

1. 旅費交通費は以下のとおり計上している。
旅費交通費（区分）：率による計上（地盤変動影響調査等）
旅費交通費＝直接人件費×1.91%
2. 材料費等は以下のとおり計上している。
材料費等＝直接人件費×7%

(2) 騒音調査費

共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の諸経費を含んだ費用として、以下のものを計上している。
建設作業騒音レベル測定 1発生源×10箇所

(3) 振動調査費

共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の諸経費を含んだ費用として、以下のものを計上している。
建設作業振動レベル測定 1発生源×10箇所

10. 施工歩掛

標準歩掛のない歩掛については、歩掛見積参考資料に示すものとする。

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（工事業務（多目的照明柱設置・撤去））

「見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。工事の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（工事業務（多目的照明（当初）柱設置・撤去））		主たる工種	道路維持工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	I C T施工補正 週休2日の補正	補正しない 週休2日（閉所）完全週休2日（土日）		

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務（多目的照明柱設置・撤去））（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
電気設備		式		1				
道路照明設備工		式		1				
道路照明設備設置工 （夜間）		式		1				
多目的照明柱設置 （1号）	H=12.3m 段付ポール メッキ後指定色・貼紙防止塗装 LED照明 ジョイントボックス 管理番号札含む	基		4		< 1 基当り > 道路照明灯建柱 施工区分=高さ:GL8～12m 重量:350kg超1,000kg以下 ；トラックレーンの深夜割増の区分=割増あり；トラックレーン 深夜割増率=1.26 無； 照明器具取付 作業種別=照明器具取付；作業内容による補正=新設 ； 高所作業車の持込貸与の区分=持込； 多目的照明柱（個別製作照明柱）（1号） SS400 メッキ後ウレタン樹脂塗装・張紙防止塗装 段付 LED道路照明器具（建電協型） KCE120-2 LED道路照明器具（建電協型）用専用ケーブル 直線型ポール用 ポール内ジョイントボックス SB-902B10- N（3相用） 番号札 スコッチライト120×75（照明ポール）	基 台 本 台 本 個 枚	1 1 1 1 1 1

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務（多目的照明柱設置・撤去））（当初）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
多目的照明柱設置 (2号)	H=12.3m テーパードポール メッキ後指定色・ 貼紙防止塗装 LED 照明 ジョイントボックス 管理番号札含む	基		33		< 1 基当り > 道路照明灯建柱 施工区分=高さ:GL8～12m 重量:350kg以下;トラックレーンの深夜割増の区分=割増あり;トラックレーン深夜割増率=1.23 無; 照明器具取付 作業種別=照明器具取付;作業内容による補正=新設;高所作業車の持込貸与の区分=持込; 多目的照明柱(個別製作照明柱)(2号) SS400 メッキ後ウレタン樹脂塗装・張紙防止塗装 LED道路照明器具(建電協型) KCE120-2 LED道路照明器具(建電協型)用専用ケーブル直線型ポール用 ポール内ジョイントボックス SB-902B10-N(3相用) 番号札 スコッチライト120×75(照明ポール)	基	1
							台	1
							本	1
							台	1
							本	1
							個	1
							枚	1
多目的照明柱設置 (3号)	H=12.5m 段付テーパードポール メッキ後指定色・貼紙防止塗装 LED照明 ジョイントボックス 管理番号札含む	基		13		< 1 基当り > 道路照明灯建柱 施工区分=高さ:GL8～12m 重量:350kg超1,000kg以下;トラックレーンの深夜割増の区分=割増あり;トラックレーン深夜割増率=1.23 無; 照明器具取付 作業種別=照明器具取付;作業内容による補正=新設;高所作業車の持込貸与の区分=持込; 多目的照明柱(個別製作照明柱)(3号) SS400 メッキ後ウレタン樹脂塗装・張紙防止塗装 段付 LED道路照明器具(建電協型) KCE120-2 LED道路照明器具(建電協型)用専用ケーブル直線型ポール用 ポール内ジョイントボックス SB-902B10-N(3相用) 番号札 スコッチライト120×75(照明ポール)	基	1
							台	1
							本	1
							台	1
							本	1
							個	1
							枚	1

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務（多目的照明柱設置・撤去））（当初）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
配管・配線工		式		1				
地中配線	CVケーブル(600V架橋ポリケーブル) 3心 600V 3.5mm2×3C	m		1,809		< 1 m当り > ケーブル及び電線配線 作業種別=管内配線；規格=20mm以下；作業内容による補正=新設； CVケーブル（600V架橋ポリケーブル） ケーブル規格=600V CV 3.5mm2；心線数=3心；	m m	1 1
道路照明設備撤去工		式		1				
道路照明灯撤去（夜間）	不使用 照明器具撤去	基		50		< 1 基当り > 道路照明灯撤去 作業区分=高さ:GL8～12m 重量:350kg以下；トラッククレーンの深夜割増の区分=割増あり；トラッククレーンの深夜割増率=1.23 無； 照明器具取付 作業種別=照明器具取付；作業内容による補正=撤去（不使用）；高所作業車の持込貸与の区分=持込；	基 台	1 1
現場発生品運搬	DID区間有 片道運搬距離11.5km以下	式		1		現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t積、吊能力2.9t； 現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ベーストラック2t積、吊能力2.9t；DID区間の有無=有り；片道運搬距離(km)DID有=11.5km以下；	t t	1 0.5

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務（多目的照明柱設置・撤去））（ 当 初 ）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単位	数量
現場発生品運搬	DID区間有 片道運搬距離11.5km以下					現場発生品及び支給品積込み・荷卸し トラック機種=トラック[クレーン装置付]ヘーストラック4～4.5t積、吊能力2.9t；	t	22
		式		1		現場発生品及び支給品運搬 トラック機種=トラック[クレーン装置付]ヘーストラック4～4.5t積、吊能力2.9t； DID区間の有無=有り； 片道運搬距離(km) DID有=11.5km以下；	t	11
工場製品輸送工		式		1				
輸送工		式		1				
輸送(電気)		式		1		輸送費（電気）	台	1
直接工事費		式		1				
共通仮設費		式		1				
共通仮設費		式		1				
現場環境改善費（率計上）		式		1				
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（DID補正）（1）－1； 除雪工補正=補正無； ICT施工補正=しない； 週休2日の補正=週休2日（閉所）完全週休2日（土日）		

見積参考資料

工事名	国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務（多目的照明柱設置・撤去））（当初）							
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（DIDD補正）（1）－1；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；ICT施工補正=しない；週休2日の補正=週休2日（閉所）完全週休2日（土日）		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
	管理費区分8 技術者間接費対象労務費		管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分T 処分費等の対象にする				
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名		国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（工事業務（多目的照明柱設置・撤去））				事業区分	電気通信設備		
						工事区分	電気設備		
細別名称		規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 9	管理費区分 2 管理費区分 T	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 8
多目的照明柱設置 (1号)		H=10. 4m 段付テーパーポール メッキ後指定色・貼紙防止塗装	基	4			○		
多目的照明柱設置 (2号)		H=10. 4m 段付テーパーポール メッキ後指定色・貼紙防止塗装	基	33			○		
多目的照明柱設置 (3号)		H=10. 4m 段付テーパーポール メッキ後指定色・貼紙防止塗装	基	13			○		
輸送(電気)			式	1	○				

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。工事の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所

舗装版撤去工

舗装版破碎工(夜間)

舗装版破碎(アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下)

舗装版破碎積込(電線共同溝)(アスファルト舗装版 15cmを超え30cm以下) 10m2当たり

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	0.4	
普通作業員		人	1.2	
運転手(特殊)		人	0.4	
バックホウ(クロー) [超小旋回型]	山積0.28m3	日	0.4	賃料
諸雑費(率+まるめ)	労務費の合計金額×10%	式	1	

電線共同溝工

管路工(管路部)(夜間)

埋設管路(ホテイ管 φ150 直管 さや管含む 5条(2条(φ50)+3条(φ30)))

管路材設置(埋設部 ホテイ管 φ150 さや管設置含む) 1m当たり

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	0.025	
特殊作業員		人	0.05	
普通作業員		人	0.075	
諸雑費(まるめ)		式	1	

構造物撤去工

道路植栽撤去工(夜間)

撤去(高木)

撤去(高木) 20本当たり

名称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	5	
特殊作業員		人	5	
普通作業員		人	10	
運転手(特殊)		人	10	
運転手(一般)		人	5	
バックホウ(クロー) [標準]	山積0.28m3(平積0.2m3)	日	5	賃料
高所作業車(リフト車)	[自走式(ホイール・ブーム型)作業床高8~9m]	日	5	賃料
トラック[クレーン装置付]	ベーストラック4t級 吊能力2.9t	日	5	賃料
諸雑費(率+まるめ)	全体の合計金額×25%	式	1	

見積参考資料（特別調査（臨時調査））

国道11号 伏石地区電線共同溝PFI事業（工事業務）

この「見積参考資料（特別調査（臨時調査））」は物価資料等に掲載されていない材料について、市場取引価格の実態調査を実施し、その結果を基に設定したものであり、入札参加者の適切かつ迅速な見積に資するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。
工事の実施にあたっては、この趣旨を十分理解し、取引の阻害とならないように留意すること。
なお、この「見積参考資料（特別調査（臨時調査））」は、当該工事にのみ適用するものとする。

○特別調査（臨時調査）材料

品 名	規 格	単 位	備 考
生コンクリート夜間割増し	コンクリートプラント開設費	回	
生コンクリート夜間割増し	生コン料金加算額	m3	
管枕	PVφ50用	個	
I 型トラフ	1200×1450×3000 付属品・鉄蓋含む	個	
I 型トラフ+地上機器(標準用)	1200×1450×3000 付属品・鉄蓋含む	個	
I 型トラフ 3連結	1200×1450×4500 付属品・鉄蓋含む	個	
A-3マンホール	標準丸首タイプ D=0.5m(車道用) 2000×1900×4300 付属品・鉄蓋含む	基	
A-5マンホール	標準丸首タイプ D=0.5m(車道用) 1500×1900×4000 付属品・鉄蓋含む	基	
A-5マンホール	標準丸首タイプ D=0.3m(歩道用) 1500×1900×4000 付属品・鉄蓋含む	基	
A-7マンホール	標準丸首タイプ D=0.5m(車道用) 1200×1800×3000 付属品・鉄蓋含む	基	
通信接続樹	500×1050×2000 付属品・鉄蓋含む	個	
低圧分岐樹	500×500×1000 鉄蓋含む	基	
視覚障害者誘導標示シート(夜間)	新設密粒舗装用	m	
多目的照明柱(個別製作照明柱)(1号)	SS400 メッキ後ウレタン樹脂塗装・張紙防止塗装 段付	本	
多目的照明柱(個別製作照明柱)(2号)	SS400 メッキ後ウレタン樹脂塗装・張紙防止塗装	本	
多目的照明柱(個別製作照明柱)(3号)	SS400 メッキ後ウレタン樹脂塗装・張紙防止塗装 段付	本	

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（調整マネジメント業務（工事段階））

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

調整マネジメント業務
調整マネジメント業務
調整マネジメント業務
実施計画等作成

【後日提示】

1式あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							実施計画等作成

調整マネジメント

【後日提示】

1月あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							調整・協議等

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝P F I事業（工事監理業務）

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

工事監理業務

工事監理業務

工事監理業務

業務計画作成

【後日提示】

1式あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							実施計画等作成

工事監理

【後日提示】

1月あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							工事監理・打合せ

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（維持管理業務）

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

維持管理業務

点検業務

点検業務

現地徒歩点検

【後日提示】

1回あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							計画準備, 現地徒歩点検, 点検調書作成, 報告書作成

特殊部マンホール点検

【後日提示】

1回あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							計画準備, 特殊部マンホール点検, 点検調書作成, 報告書作成

電線共同溝台帳作成

電線共同溝台帳作成

電線共同溝台帳作成

【後日提示】

1kmあたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							管理台帳作成

歩 掛 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝P F I 事業（調整マネジメント業務（維持管理段階））

「歩掛見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

調整マネジメント業務

調整マネジメント業務

調整マネジメント業務

実施計画等作成

【後日提示】

1式あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							実施計画等作成

調整マネジメント

【後日提示】

1年あたり

	理事・技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
							調整・協議等

見 積 見 積 参 考 資 料

国道11号 伏石地区電線共同溝 P F I 事業（その他移設費（割賦手数料））

「見積参考資料」は、あくまでも現場説明参加業者の適正・迅速な見積に供するための一資料に過ぎず、何ら請負契約上の拘束力を生じるものではない。業務の実施にあたっては、この主旨を十分理解し、事故発生等を招かぬよう、その防止措置に留意すること。

本参考資料は、積算に必要な数量等を参考として表示したものである。

国土交通省 四国地方整備局
香川河川国道事務所 道路管理第二課

その他施設費（割賦手数料）

本事業における基準金利の利率は、国債金利８年ものを基準金利とし、利ざや（スプレット）〇％を足したものを想定している。
なお、利ざや（スプレット）については、競争参加資格確認通知書において、競争参加資格が有と通知された者に対して、利ざや（スプレット）を提示した見積参考資料（その他施設費（割賦手数料））を電子データにて交付する。